



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月24日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 浩司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521
 四半期報告書提出予定日 2020年4月24日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,780	△9.9	131	23.6	132	14.5	23	△69.4
2019年12月期第1四半期	1,976	24.4	106	20.7	115	14.8	77	7.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	1.41	—
2019年12月期第1四半期	4.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	11,625	9,956	85.6
2019年12月期	11,740	9,958	84.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 9,956百万円 2019年12月期 9,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	△7.1	200	△12.3	220	△9.7	140	△14.0	8.28
通期	7,210	△4.3	550	4.2	570	3.7	385	4.7	22.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	17,955,000株	2019年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	1,039,894株	2019年12月期	1,039,844株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	16,915,126株	2019年12月期1Q	16,915,356株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や生産活動等に弱含みの傾向がみられる上、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内外の経済動向が停滞するなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした個別製品等において、提案営業強化を図り新規顧客展開に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,780百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は131百万円(前年同期比23.6%増)、経常利益は132百万円(前年同期比14.5%増)となりました。四半期純利益は、保有する投資有価証券が新型コロナウイルスによる記録的な株価下落の影響を受け、評価損を計上した事から23百万円(前年同期比69.4%減)となりました。なお、四半期会計期間における投資有価証券の減損処理は、洗替法を採用しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[減速機関連事業]

旺盛な省力化・省人化投資需要を背景に、無人搬送台車駆動用減速機などの受注が堅調に推移いたしました。全社では工作機械の受注環境が低調に推移し、売上高は830百万円(前年同期比7.5%減)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等に取り組みましたが、売上高の減少等により51百万円(前年同期比39.1%減)となりました。

[駐車場装置関連事業]

積極的な付加価値提案活動により改造・改修工事が増加いたしました。昨年度の大型物件の反動により新築工事が減少したことで、売上高は869百万円(前年同期比14.3%減)となりました。営業利益につきましては、売上高が減少する中、採算重視の受注活動や既設物件への改造・改修提案を強化した他、製造・施工コストの管理体制強化を進め、継続的な原価低減活動に努めた結果79百万円(前年同期比150.5%増)となりました。

[室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と性能の向上に努め受注獲得に努め、売上高は81百万円(前年同期比25.3%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、コスト低減活動に取り組む0百万円の利益(前年同期は9百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

[資産]

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ115百万円減少し11,625百万円となりました。

流動資産は、仕掛品が71百万円、原材料及び貯蔵品が45百万円、現金及び預金が39百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が202百万円、未成工事支出金が62百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ73百万円減少し7,939百万円となりました。

固定資産は、資産の取得等により有形固定資産が28百万円増加した一方で、保有株式の株価下落により投資有価証券が70百万円減少したことで、前事業年度末に比べ41百万円減少し3,686百万円となりました。

[負債]

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ113百万円減少し1,668百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が83百万円、賞与引当金を含むその他の引当金が32百万円増加した一方で、未払法人税等が151百万円、未払消費税等を含むその他の項目が84百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ103百万円減少し1,348百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が6百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が17百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ9百万円減少し320百万円となりました。

[純資産]

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ2百万円減少し9,956百万円となりました。

これは、その他有価証券評価差額金が24百万円増加した一方で、利益剰余金が26百万円減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ0.8ポイント増加し85.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う企業収益や内外経済の下振れ、また、金融資本市場の変動等、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われま

なお、2020年12月期の業績予想につきましては、現時点では2020年2月5日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,713,532	3,753,109
受取手形及び売掛金	2,976,407	2,773,841
製品	39,092	44,602
仕掛品	532,227	603,568
未成工事支出金	233,507	170,955
原材料及び貯蔵品	418,287	464,271
その他	108,978	137,189
貸倒引当金	△8,958	△8,342
流動資産合計	8,013,074	7,939,195
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,527,531	2,535,181
減価償却累計額	△1,860,661	△1,873,166
建物(純額)	666,869	662,014
機械及び装置	2,311,140	2,369,384
減価償却累計額	△1,845,635	△1,863,536
機械及び装置(純額)	465,504	505,848
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	9,852	775
その他	1,008,029	1,014,188
減価償却累計額	△878,885	△882,870
その他(純額)	129,143	131,317
有形固定資産合計	2,876,334	2,904,920
無形固定資産	67,672	64,954
投資その他の資産		
投資有価証券	355,293	284,488
その他	428,436	432,030
投資その他の資産合計	783,730	716,519
固定資産合計	3,727,737	3,686,393
資産合計	11,740,811	11,625,589

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	905,211	988,714
未払法人税等	170,845	19,695
工事損失引当金	-	15,954
その他の引当金	62,887	95,320
その他	313,270	228,655
流動負債合計	1,452,214	1,348,339
固定負債		
退職給付引当金	278,639	284,786
役員退職慰労引当金	29,100	12,080
その他	21,919	23,617
固定負債合計	329,658	320,483
負債合計	1,781,873	1,668,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,814,617	3,787,666
自己株式	△197,992	△198,008
株主資本合計	10,021,079	9,994,112
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,141	△37,346
評価・換算差額等合計	△62,141	△37,346
純資産合計	9,958,938	9,956,766
負債純資産合計	11,740,811	11,625,589

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,976,868	1,780,768
売上原価	1,633,973	1,429,415
売上総利益	342,895	351,352
販売費及び一般管理費	236,620	220,032
営業利益	106,274	131,319
営業外収益		
受取利息	106	86
保険配当金	6,503	-
受取ロイヤリティー	1,215	1,215
その他	3,003	1,154
営業外収益合計	10,827	2,456
営業外費用		
売上割引	1,571	1,546
その他	185	149
営業外費用合計	1,756	1,695
経常利益	115,346	132,080
特別損失		
投資有価証券評価損	-	106,186
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	106,186
税引前四半期純利益	115,346	25,894
法人税、住民税及び事業税	52,068	7,055
法人税等調整額	△14,390	△4,955
法人税等合計	37,677	2,100
四半期純利益	77,668	23,794

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	897,526	1,014,642	64,698	1,976,868	—	1,976,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,063	—	—	31,063	△31,063	—
計	928,589	1,014,642	64,698	2,007,931	△31,063	1,976,868
セグメント利益又は損失(△)	84,601	31,596	△9,922	106,274	—	106,274

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	830,517	869,207	81,043	1,780,768	—	1,780,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,102	—	—	15,102	△15,102	—
計	845,620	869,207	81,043	1,795,871	△15,102	1,780,768
セグメント利益	51,512	79,134	672	131,319	—	131,319

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。